

広報ちゅうざん

9月号 平成24年9月1日発行



もくじ

2ページ 3B病棟紹介

3ページ 4B病棟紹介

4ページ 2B病棟紹介

入退院状況

9月1日発行

編集：西野

回復期3B病棟紹介

3B病棟師長 知花睦代

3B病棟は三十二人の患者を受け入れ出来るベット数を確保し在宅復帰を目標にリハビリを提供している病棟です。病棟担当医師一名、看護師十三名、介護士八名、理学療法士五名、作業療法士五名、言語療法士一名、栄養士一名メディカルソーシャルワーカー一名で構成されています。入院している患者様は八十歳以上が多く、毎日の訓練の中、少しでも憩いが持てるようにステーション前ではDVDの鑑賞、サテライトには熱帯魚などの飼育、そしてベランダにはマリーゴールド等色鮮やかな花が咲き乱れ精神的な面での取り組みも行なっています。担当セラピストのよるリハビリ訓練のほかに病棟では立ち上がり訓練や家族への介護指導等患者様の能力に合わせスタッフ一丸となり行なっています。少しのんびりとした雰囲気のある病棟であり、スタッフの中には入院患者様の家族と同じような介護する立場にいる人やあと数年後には介護される側になる可能性もある経験豊富なスタッフ等様々で楽しい病棟です。一度熱帯魚でも見に車椅子散歩がて



ら立ち寄ってみてください。歓迎すること間違いなしです。

回復期4B病棟紹介

リハ主任 理学療法士 村井直人

4B病棟 師長 小橋川由美子

4B病棟は病棟担当医1名、看護師12名、介護士8名、理学療法士5名、作業療法士4名、言語聴覚士1名の計31名で病棟に入院されている患者様に対し、各職種専門性を活かしながらチーム一丸となってリハビリテーションを行っている回復期病棟です。

具体的には、担当医の指示・管理の下、疾病や障害をおった患者様に対し個別トレーニングや日常生活場面でのトレーニングをリハビリ・看護・介護スタッフにて協力して行い、基本動作・日常生活活動能力の向上を図り、社会・在宅復帰へとつなげていきます。患者様の日々改善していく能力の変化や目標を把握するために、職員間での話し合いや安全な動作が出来るように職員間での介護方法の統一を行い、よりよい治療が提供できるようにしています。臥床時間が長い方に対しては寝たきり予防のための離床

や起立・歩行といった病棟訓練を、また歩行獲得が目標であれば車椅子はなるべく使用せずに食事やトイレ等の移動を歩行にて積極的に誘導する、オムツ使用ではなく排泄動作獲得のため積極的なトイレ誘導を行う、などといった取り組みを看護・介護士を中心に行なっています。

セラピストによる訓練は1対1で行なう治療に加え、患者様自身に行なえる効果的な訓練も積極的に指導し4B病棟にある訓練室内に集まって実施してもらうことで活気のある訓練室を作り、患者様の意欲・能力の向上を図る取り組みを行っています。

簡単な取り組み内容の紹介となりましたが、急性期病院での治療とは違い、集中的なりハビリテーション訓練を他職種協力し合っで行っている病棟で、患者様・ご家族の望む社会・在宅復帰へとつなげられるように日々努力しています。

質問・相談したいことがあれば、是非気軽に声をかけてください。

2B病棟紹介

病棟師長 猪原 栄二

介護主任 志喜屋 健

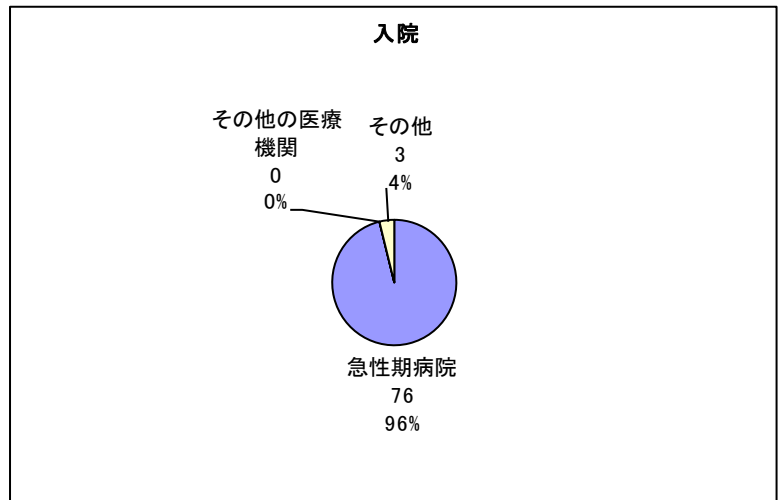
2B病棟構成は、病棟担当医1名、看護師13名、介護士8名、理学療法士7名、作業療法士4名、言語聴覚士1名、計34名で構成しています。2B病棟では、在宅復帰、早期退院、ADL向上に向け、看護、介護、リハスタッフでその方にあたりハビリ、ケアに取り組んでいます。

リハビリでは日曜日を除く毎朝朝食後集団リハビリ体操など行い患者様も積極的に参加されています。日曜日は病棟スタッフでも病棟訓練などに関わって日常生活動作の向上に向けてチームで統一したケアを行っています。日々のカンファレンスの中で患者様のニーズにどうしたら答えられるか、また、在宅復帰や早期退院に向けて話し合いなど患者様、ご家族にとって良い解決方法に繋げて行けるよう話し合いの場でスタッフの意見交換、情報交換などしています。チームで患者様、ご家族を支えて行けるようスタッフ一同で協力し支えあっている病棟です。

ちゅうざん病院入退院状況

入院状況

- 急性期病院・・・76名
- その他の施設・・・0名
- その他・・・3名



退院状況

- 自宅・・・31名
- 急性期病院・・・9名
- その他の医療機関・・・2名
- 老人保健施設・・・1名
- 特別養護老人ホーム・・・1名
- 有料老人ホーム・・・7名
- 死亡・・・0名

